

資料5 広里地区自然再生事業について

第24回湿原再生小委員会 令和4年1月25日 釧路自然環境事務所

～ 広里地区における湿原再生手法の検討 ～

広里地区の背景

1931年、新釧路川の開削に伴い、左岸築堤によって雪裡川と旧雪裡川とに分断

- ・川沿いの一部が農地として開発利用された後、未利用地に
(旧農地区域)
- ・中央部分では1970年代頃にハンノキ林が
(ハンノキ林) 急激に拡大



広里地区自然再生事業について

旧農地区域

検討項目	事前調査	旧雪裡川 通水・堰上げの検討	地盤掘下げ 試験	遮水壁の検討
年次				
2002年 平成14年	・水位シミュレーション ・CCA解析 ・明渠埋め戻しの検討 ・乾燥原因の解明	・水位シミュレーション ・河川環境調査 (魚類・底生生物・植物・水位・水質) ・影響予測 ↓ ・検討終了	・試験区の施工 ・モニタリング (植生・水位・水質・土壌・地温)	
2003年 平成15年				
2004年 平成16年				
2005年 平成17年				
2006年 平成18年			・効果検討 ↓ ・検討終了	
2007年 平成19年				
2008年 平成20年				
2009年 平成21年				・水位シミュレーション ・地質調査 ・有効性検討 ・シミュレーション ・基本設計・現地調査 ・実施設計 ・電気探査 ・地質調査 ↓ ・検討終了
2010年 平成22年				
2011年 平成23年				
2012年 平成24年				
2013年 平成25年				
2014年 平成26年				
2015年 平成27年				
2016年 平成28年				
2017年 平成29年				
2018年 平成30年	湿原植生の再生手法について検討終了			
2019年 令和1年				
2020年 令和2年				
2021年 令和3年	広里地区の成果をWeb上に公開、有識者による現地確認			
2022年 令和4年				
2023年 令和5年				
2024年 令和6年				

ハンノキ林

検討項目	事前調査	ハンノキ 伐採試験	拡大メカニズム 解明調査	方針の検討
年次				
2002年 平成14年	・CCA解析 ・航空写真判読	・試験区の施工 ・モニタリング (植生・水位・水質・土壌・地温・気象)	・ハンノキ林立地適地調査 (発芽・実生・植生・年輪・水位・水質・土壌)	
2003年 平成15年				
2004年 平成16年				
2005年 平成17年				
2006年 平成18年		・効果検討 ↓ ・検討終了		
2007年 平成19年			・解析 ↓ ・検討終了	
2008年 平成20年			・湿原火災の影響調査 ・模擬燃焼試験 (発芽・実生・植生・光量子・水位・水質・土壌)	
2009年 平成21年				
2010年 平成22年				
2011年 平成23年				
2012年 平成24年			・解析 ↓ ・検討終了	
2013年 平成25年				・取扱い方針検討 ↓ ・検討終了
2014年 平成26年	急拡大したハンノキ林の原因究明と対策について検討終了			
2015年 平成27年				・モニタリング (5年毎・1回目)
2016年 平成28年				
2017年 平成29年				
2018年 平成30年				
2019年 令和1年				・モニタリング (5年毎・2回目)
2020年 令和2年				
2021年 令和3年				
2022年 令和4年				
2023年 令和5年				
2024年 令和6年				・モニタリング (5年毎・最終予定)

◆ 今後の方針 ハンノキ林モニタリング（最終）、推移を見守る